

令和6年度 学校評価アンケート（保護者）～7月（前期）～
 評価4：よくあてはまる 評価3：あてはまる 評価2：あまりあてはまらない 評価1：あてはまらない

番号	質問内容	グラフ	評価4	評価3	評価2	評価1	
1	お子さんは、学校生活を楽しく送ることができている。		49.0%	40.8%	6.1%	4.1%	3年
			44.4%	48.9%	2.2%	4.4%	2年
			44.4%	50.0%	2.8%	2.8%	1年
2	お子さんは、学校の授業(学習)が分かりやすいと言っている。		6.1%	55.1%	32.7%	6.1%	3年
			11.1%	62.2%	20.0%	6.7%	2年
			16.7%	61.1%	22.2%	0.0%	1年
3	お子さんは、家庭で挨拶、返事、適切な言葉遣いができている。		32.7%	51.0%	12.2%	4.1%	3年
			28.9%	57.8%	11.1%	2.2%	2年
			16.7%	75.0%	8.3%	0.0%	1年
4	お子さんは、仲の良い友達がいる。		59.2%	38.8%	2.0%	0.0%	3年
			71.1%	26.7%	0.0%	2.2%	2年
			58.3%	36.1%	5.6%	0.0%	1年
5	お子さんは、毎日宿題や予習・復習に取り組むなど、家庭学習の習慣が身に付いている。		30.6%	46.9%	14.3%	8.2%	3年
			20.0%	64.4%	13.3%	2.2%	2年
			33.3%	38.9%	27.8%	0.0%	1年
6	お子さんと学校の先生は、良い人間関係を築くことができている。		34.7%	57.1%	6.1%	2.0%	3年
			33.3%	62.2%	2.2%	2.2%	2年
			38.9%	55.6%	5.6%	0.0%	1年
7	お子さんが、家庭でインターネットやスマートフォン(携帯電話)等を使用するときは、ルールを決めて正しく使用している。		20.4%	28.6%	46.9%	4.1%	3年
			22.2%	55.6%	20.0%	2.2%	2年
			16.7%	61.1%	16.7%	5.6%	1年
8	お子さんは、服装や頭髪、持ち物など学校のルールを守れている。		61.2%	36.7%	2.0%	0.0%	3年
			60.0%	35.6%	2.2%	2.2%	2年
			72.2%	27.8%	0.0%	0.0%	1年
9	お子さんは、部活動の目的を理解し、意欲的に取り組んでいる。(取り組んでいた。)		53.1%	36.7%	8.2%	2.0%	3年
			66.7%	28.9%	2.2%	2.2%	2年
			58.3%	33.3%	2.8%	5.6%	1年

10	地域復興に向けた学校の取組は、子どものためになっている。	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■ 評価4 ■ 評価3 ■ 評価2 ■ 評価1</p>	46.9%	49.0%	4.1%	0.0%	3年
			35.6%	60.0%	4.4%	0.0%	2年
			52.8%	41.7%	5.6%	0.0%	1年
11	先生方は、生徒をよく理解しようと、適切な指導に努めている。	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■ 評価4 ■ 評価3 ■ 評価2 ■ 評価1</p>	44.9%	44.9%	8.2%	2.0%	3年
			31.1%	66.7%	2.2%	0.0%	2年
			36.1%	63.9%	0.0%	0.0%	1年
12	学力の向上に向けた取組は生徒のためになっている。	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■ 評価4 ■ 評価3 ■ 評価2 ■ 評価1</p>	40.8%	53.1%	6.1%	0.0%	3年
			28.9%	62.2%	8.9%	0.0%	2年
			27.8%	69.4%	2.8%	0.0%	1年
13	先生は、生徒一人一人へ適切な指導・対応をしている。	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■ 評価4 ■ 評価3 ■ 評価2 ■ 評価1</p>	40.8%	49.0%	8.2%	2.0%	3年
			31.1%	62.2%	6.7%	0.0%	2年
			33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	1年
14	学校の、いじめやいじめ防止等の取組は適切である。	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■ 評価4 ■ 評価3 ■ 評価2 ■ 評価1</p>	30.6%	59.2%	6.1%	4.1%	3年
			22.2%	73.3%	4.4%	0.0%	2年
			22.2%	72.2%	5.6%	0.0%	1年
15	先生と、子どもや学校のことについて話がしやすい。	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■ 評価4 ■ 評価3 ■ 評価2 ■ 評価1</p>	40.8%	46.9%	10.2%	2.0%	3年
			37.8%	55.6%	6.7%	0.0%	2年
			25.0%	63.9%	11.1%	0.0%	1年
16	部活動顧問は、保護者との連携に努めている。	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■ 評価4 ■ 評価3 ■ 評価2 ■ 評価1</p>	38.8%	42.9%	14.3%	4.1%	3年
			48.9%	42.2%	6.7%	2.2%	2年
			30.6%	52.8%	16.7%	0.0%	1年
17	学校の校舎内外や運動場は、教育活動に適した環境を整えている。	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■ 評価4 ■ 評価3 ■ 評価2 ■ 評価1</p>	57.1%	36.7%	6.1%	0.0%	3年
			35.6%	55.6%	8.9%	0.0%	2年
			36.1%	61.1%	2.8%	0.0%	1年
18	学校は、通信や便り、HP（ホームページ）等を通して、学校の様子を積極的に発信している。	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■ 評価4 ■ 評価3 ■ 評価2 ■ 評価1</p>	73.5%	26.5%	0.0%	0.0%	3年
			68.9%	31.1%	0.0%	0.0%	2年
			75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	1年
19	お子さんは、野村中生として、誇りを持って生活している。	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■ 評価4 ■ 評価3 ■ 評価2 ■ 評価1</p>	46.9%	49.0%	2.0%	2.0%	3年
			31.1%	62.2%	2.2%	4.4%	2年
			44.4%	52.8%	2.8%	0.0%	1年

令和6年度 7月（前期） 学校評価アンケート結果分析（保護者）	
1、4	どの学年も概ね良好であるが、1を付けている回答もある。生活調査のアンケートにも注視し、保護者にも安心してもらえるような体制を構築していきたい。
2	3年生の数値が低く、令和5年度後期の結果と比較しても低下している。3年の学習内容が難しくなるのは当然のことではあるが、生徒がなぜできないのかという視点に寄り添って、教職員が対応していかなければならない。受験期が近付き、入試を突破することができるようサポートの充実に励まなければならない。
3	高評価を維持し、数値も上向いている。継続した挨拶習慣と指導が必要である。
5	宿題の量の調節や教科間の分量の連携に努めている。合理的な配慮等の視点も考慮されている。
6	高評価を維持。これからの学校行事を重ね、さらに数値が上昇していくことを願う。生徒と迎合するのではなく、生徒をより良い方向へ導けるよう、教職員もさらに指導体制の充実に努める必要がある。
7	全体的な評価も前年度同様の傾向にある。各家庭のSNSや携帯電話の使用に関する心配や不安は依然として残る。ネット社会を賢く生きるためにも、保護者の見守りや決まりの徹底が最も大切である。学校においても、生徒がネット環境で悪影響を受けることのないように啓発を続ける。
8～13	全体的に高評価である。校則の見直しもあり、今後、生徒自身による自浄力でより良い学校生活を構築してほしい。前年度同様に、3年生を目標として、後輩も後に続こうと学校生活を頑張っている様子が伺える。ホームページを通して、学校の様子がよく分かれると高評価をいただいております。教職員、生徒、そして保護者が一体となって、健全な野村中学校を構築していきたいと考える。
14	高評価であるが、3年生に2件、1の評価が出ている。回答は記名制にしており、該当生徒への対応ができるはずであるが、匿名のために、該当生徒が把握できていない。個に寄る対応を心掛け、個々の悩みが少しでも解消できるよう懸命に対応に努めたい。
15～16	全体的に高い評価を得ている。各学年、身近な先生との信頼関係を構築し、教師との距離が近付いているように感じる。部活動においては、保護者との連携が構築されてきているが、部活動間において差はないか、顧みる必要がある。身近に起こり得るトラブルは、教職員間で連携を取りながら、未然防止に努める。
17～18	ホームページ等で情報発信することが、保護者にとって学校生活の様子を見る大切なツールになっている。タイムリーでスピード感のある情報発信に対し、保護者より感謝の気持ちを伝えられることも多い。教育環境の整備については、引き続き、優先順位を付けて、安全・安心な学校生活を送れるよう努める。
19	最も注視したい項目である。落ち着いた学校生活、穏やかな交友関係、N-プロジェクトに向けた取組等、生徒自身が納得のいく教育活動を経験することにより、生徒の自己肯定感が高まるきっかけとなっている。家庭内においても話題として上がり、今回のような結果をいただいているのだと感じる。野村中生であることに誇りが持てるよう、保護者、生徒、関係諸機関、そして教職員が一丸となって、教育活動の充実に努めたい。また、教職員の言動一つで生徒の心に光を差すことも、またその逆もあり得るということも忘れ
総	前年度と比較しても、全体的にさらに高評価の結果となっている。「分かりやすい授業」、「インターネット、スマートフォンの利用」の評価については、継続した対応が必要である。一人不捨の精神で、悩みを抱える生徒に寄り添う姿勢を忘れずに、さまざまな角度から継続指導していくことが大切である。学校教育目標の具現化に向けた取組を一層丁寧に行い、生徒がより充実した学校生活を送れるよう努めたい。